

「令和5年度伊達市経営に関する説明会（霊山地域）」発言録

日 時：令和5年4月27日（木）

13時40分～14時25分

場 所：霊山中央交流館

参加者：65/80人

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

農林業・商工業・観光

■イノシシの罠について

行政推進員：イノシシ除けのワイヤーネットやイノシシ捕獲罠が土地所有者に断りなく無断で設置された。何度も農政課に説明を求めたが納得できるものではない。説明をいただきたい。

産業部長：イノシシ除けのフェンスは、市が補助を出す場合と個人の方が設置する場合があります。イノシシ捕獲罠も狩猟免許を持っている方か自治体なのかにより異なります。経過も含め該当の設置エリアを確認し、個別対応させていただきます。

行政推進員：農政課には何度も伝えているが現場に来ない。いつ頃になるのか教えてほしい。

産業部：ゴールデンウィークの連休明けで調整させていただきたい。

生活環境

■道の駅 伊達の郷 りょうぜん の交差点について

行政推進員：道の駅の交差点が非常に危ない状況になっています。60キロ速度規制のところを30キロの速度で農耕車が横断しなければならない。また、歩行者も横断歩道がないところを横断しています。国の道路と聞いていますが、市に払い下げするなどして信号機を設置していただきたい。

建設部長：国の道路でありますので市に払い下げは難しいというのが現実です。非常に危ないという状況も踏まえ、危険箇所に看板を設置するなど、国・県に要望したいと考えています。

まちづくり・地域振興

■ 霊山総合支所移転後の土地利用について

行政推進員：霊山総合支所の庁舎移転後、現在の土地の利用方法について計画はありますか。

未来政策部長：霊山中央交流館敷地内に霊山総合支所を移転させる計画ですが、支所跡地の利用方法はまだ決まっておりません。今後、庁内及び地域の方のご意見をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

■ 集落支援員について

行政推進員：集落支援員はどのようなことをしてくれる人なのでしょうか。今までの地域おこし支援員との違いを説明いただきたい。

未来政策部長：集落支援員は今年度初めて取り組む事業です。地域おこし支援員は都市部から伊達市を知らない若い方に来てもらい地域に入っていました。集落支援員は実際に地元に住んでいる方に集落を回っていただきます。地域課題の解決に向けた支援活動を目的としています。霊山地域の人選もこれからになりますが、基本的には霊山総合支所に配置し、各地域を回る形をとります。

■ 旧大石小学校の老朽化した桜の木について

行政推進員：旧大石小学校の校庭と県道の法面に、小学校が開校した時代からあると思われる桜の木があります。現在は老木となり枯れ枝が県道、或いは法面に落ちている状況です。県道走行において危険であるため対応をお願いしたい。根元からの伐採でまるっきり桜がなくなるというのも地域として寂しい気持ちもある。対応について地域のふるさとづくり協議会と協議してほしい。

教育部長：早い段階で現地を確認いたします。県道敷きなのか旧学校施設用地なのかも含め保原土木事務所と協議を進めたいと思います。また、根元から切るとか現在の状況を判断し、ご相談させていただき危険防止対策を行いたいと思います

■ 山野川運動公園の簡易トイレについて

行政推進員：山野川運動公園にある簡易トイレですが、老朽化が激しく5年前から更新の要望をしている。霊山総合支所からどのくらいの利用者数なのか調べるよう指示があり、年間の利用者数を記載した資料を提出した。その後も対応がなかったため、昨年改めて霊山総合支所へ伺ったところ、再度利用者数の提示を求められた。資料は既に提出しているのに何の対応もしてもらえないのはおかしいと伝えました。その後、霊山総合支所で簡易の便座を設置しましたが、その便座は扉を開けないとズボンを上げることができないものでした。一年間我慢して使用してくださいと言われましたが、今年になったら予算がないから対応

できないと説明があった。市としてどのように考えているのか伺いたい。

未来政策部長：最初に職員の対応が不適切であったことに対しお詫び申し上げます。今後どのような改修方法が良いのかを含め、改めて霊山総合支所からご相談させていただきたいと考えております。

■水道基本料金支援について

行政推進員：公共料金や物価が値上がりしている状況で、昨年度伊達市の水道料金減額措置がありました。このような市民サービスは、地域にとって大変喜ばしいことです。今後も同様な支援は考えていますか。

建設部長：昨年、水道料金減免を行いました。今年度も国の補助金が入る予定がありますので、市民の皆さんの料金低減を含め検討してまいりたいと考えております。

その他

■市営住宅の入居について

行政推進員：地区内に市営住宅の谷津団地がありますが、空きがある状況です。集中浄化槽の費用を戸数負担していますが、入居者数に空きがある状況だと現在住んでいる人で負担しなければなりません。入居したい人はいると思いますが市でなぜ空けているのかを伺いたい。

建設部長：谷津団地は木造とRC（鉄筋コンクリート造）、掛田高齢者専用共同住宅があります。棟数は木造6棟、RCが7棟で、戸数は54です。現在は41の入居数で入居率は80%となっています。入居希望者から申請があり審査後、条件に合致している方は速やかに入居いただいているのが現状です。今後入居率を上げるためのPR等を前向きに検討してまいりたいと思います。